

## 神戸市長田・菅原市場と「寅さん」

職場の親睦会パーティで次のような挨拶をした。研究科長になって11ヶ月と3日が経過したが、これから法人化に向けて「攻め」の姿勢で改革に取り組んでいくことなどだ。準備した原稿にはなかったが、「奮闘努力の甲斐も無く」ではなく、「奮闘努力の甲斐も有り」にしたいと締めくくった。前者は大好きな映画「男はつらいよ」の歌詞の一部だ。

つい「男はつらい」の歌詞が浮かんできた。これには「わけ」がある。先日、大阪にいったときに神戸市の長田まで足を伸ばした。レポートにも何回か書いたように、長田には定期的に訪れている。時間もないので、とにかく新長田駅から兵庫駅の方に向けて歩くことが多い。今回は一つ目的があった。写真のような「寅さん」ロケのモニュメントを見たかったので、とにかく菅原市場があったところに向かった。前にも何度か通ったことはあったが、つい見逃していた。

焼けた旧菅原市場を再建した共同経営のスーパーの入口に、写真のようなモニュメントがあった。シリーズ最終作「男はつらいよ」48作のなかで、病に冒されていた渥美清役の寅さんは、「この場所で多くの人が亡くなったんだねえ」と言って、さいごの演技をした。菅原市場や地域の人たちは、寅さんや山田組のロケに大いに励まされ、このモニュメントを作ることになったという。あらためて映画のシーンと寅さんの姿が思い起こされる。



(3月7日 記)